

バイオマス取組事例概要

関東

(バイオマス活用協議会会長賞)

- ・ 応募主体 株式会社アグリガイアシステム
- ・ 都道府県・市町村 千葉県八街市
- ・ 取組分野 堆肥化

取組概要

食品残渣から堆肥を製造。資源循環システムの構築。

(株)アグリガイアシステムは千葉県八街市において、平成15年より一般・産業廃棄物処理業に取り組むベンチャー企業である。

東京都内の大手コンビニエンスストアチェーン890店の正味期限切れのお弁当等の食品廃棄物、スーパー、ホテル、食品工場等から発生する食品残渣等を収集（グループ企業）し、家畜排泄物、木くず等と混合し、堆肥を製造している。

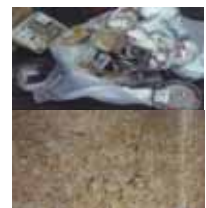
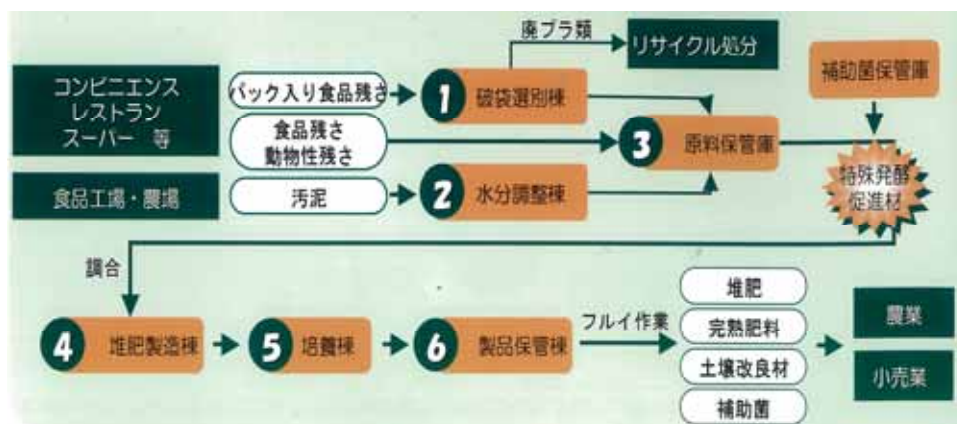
堆肥は、提携農家、いんば農協の組合員等に販売し、栽培された野菜の一部は食品残渣等の排出者であるスーパーで販売する循環システムを構築している。

また、堆肥の他、京王電鉄と協同で「バイオ脱臭剤」（使用後は堆肥として利用が可能）を開発、京王電鉄のグループ企業で販売がされているほか、駅のトイレで活用がされている。

弁当等の食品残渣処理の合理化を図るため、中身が入ったままの弁当箱を破砕、プラスチックと食品残渣を自動分別処理機によりに分別。

また、水分量が多く、堆肥化が難しい乳製品、ワイン等に対しては、木くず等の混合による水分調整を実施し処理を行っている。

循環型リサイクルセンターの処理フロー



自動分別処理前の食品残渣(上)と分別後(下)



バイオ消臭剤